

工 検 第 1 2 4 3 号  
令 和 8 年 3 月 3 1 日

工事関係機関の長 様

会計局 工事検査課長

### 工事成績採点基準の一部改正について（通知）

このことについて、「工事成績採点基準」（平成28年9月5日最終改正）に規定する「考査項目別運用表」を下記のとおり一部改正しましたので通知します。

なお、この通知は、工事検査課のホームページで公表するとともに、（一社）福井県建設業協会にも通知していることを申し添えます。

#### 記

#### 1 改正の概要

- 1) 週休2日を確保した工事に関する評価の廃止
- 2) 完全週休2日を確保した工事に関する評価の廃止
- 3) ICT活用工事に関する評価の見直し

#### 2 考査項目別運用表の改正内容（別紙1）

#### 3 改正後の考査項目別運用表（別紙2）

4 適用日 令和8年4月1日以降に入札公告した工事から適用する。

5 その他 工事成績評定システムの更新は令和8年7月下旬を予定しており、改めて通知します。

担当：工事検査課 印牧

内線：2212

考查項目別運用表の改正内容

1. 週休2日を確保した工事に関する評価の廃止

- ・「福井県建設工事における週休2日工事実施要領」（令和2年3月24日付土管第245号）に基づき、週休2日を確保した工事に対する加点評価を廃止する。
- ・週休2日を確保できなかった場合、減点評価は行わない。

①一次評定

[土木]（考查項目別運用表 別紙-1.4 2. 施工状況 II. 工程管理）

[建築]（考查項目別運用表 別紙-4.4 2. 施工状況 II. 工程管理）

- ・評価対象項目【その他】における評価を廃止する。

改正前	■■	その他	理由：週休2日を確保した。
改正後	□□	その他	理由：

②二次評定

[土木]（考查項目別運用表 別紙-2.1 2. 施工状況 II. 工程管理）

- ・週休2日の確保を行った場合は、以下2項目で評価し、原則a評価としていたものを廃止する。

改正前	■■	工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。
	■■	その他 理由：週休2日を確保した。
改正後	□□	工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。
	□□	その他 理由：

[建築]（考查項目別運用表 別紙-5.1 2. 施工状況 II. 工程管理）

- ・評価対象項目【その他】における評価を廃止する。

改正前	■■	その他	理由：週休2日を確保した。
改正後	□□	その他	理由：

## 2. 完全週休2日を確保した工事に関する評価の廃止

- ・完全週休2日を確保した工事に対する加點評価を廃止する。
- ・完全週休2日を確保できなかった場合、減點評価は行わない。

### ①一次評定

[土木] (考査項目別運用表 別紙-1.9 5. 創意工夫 I. 創意工夫)

[建築] (考査項目別運用表 別紙-4.8 5. 創意工夫 I. 創意工夫)

- ・評定対象項目【その他】の記述内容を変更するとともに、評価を廃止する。

改正前	<input checked="" type="checkbox"/> 完全週休2日の確保が図られている。(R3.5.1以降に入札公告した工事から適用)
改正後	<input type="checkbox"/> 完全週休2日の確保が図られている。(R3.5.1からR8.3.31迄に入札公告した工事に適用)

### ②二次評定

[土木] (考査項目別運用表 別紙-2.3 6. 社会性等 I. 地域の貢献等)

[建築] (考査項目別運用表 別紙-5.3 6. 社会性等 I. 地域の貢献等)

- ・完全週休2日の確保を行った場合は、評定対象項目【その他】で評価し、原則b'評価としていたものを廃止する。

改正前	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> その他 理由：完全週休2日を確保した。
改正後	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由：

## 3. ICT活用工事に関する評価の見直し

- ・ICT活用工事の拡大とともに、自社によるICT技術の活用(内製化)を促進するため、加點内容を見直しする。
- ・見直し内容は別添1のとおり。

### ①一次評価

[土木] (考査項目別運用表 別紙-1.9 5. 創意工夫 I. 創意工夫)

改正前	<input checked="" type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。(全面・部分)
改正後	<input checked="" type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)を活用した工事。(必須項目・内製化)(R8.4.1以降に入札公告した工事から適用)

改正後の考査項目別運用表

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細 別	技術力キーワード一覧表	
5. 創意工夫	(土木工事) I. 創意工夫 評価項目数	<p><b>【準備・後片付け関係】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><b>【施工】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮棧橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)を活用した工事。(必須項目・内製化) (R8.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p> <p><input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。</p> <p><b>【品質】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫。</p>	<p><b>【安全衛生】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所、労務者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。</p> <p><b>【その他】</b></p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> <u>完全週休2日の確保が図られている。</u> (R3.5.1からR8.3.31迄に入札公告した工事に適用)</p> <p><input type="checkbox"/> 若手や女性技術者の登用により担い手確保が図られている。 (R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p> <p><input type="checkbox"/> 建設キャリアアップシステムの活用が図られている。 (R3.5.1以降に入札公告した工事から適用)</p>
	記述評価 (レマークを付けた評価 内容を詳細記述)	評点: _____点	【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 評価は最大7点の加点評価とする。

※3. 該当キーワード数の数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。

※4. キーワード項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。

考查項目別運用表

(1/2)(第一次評定者)

考查項目	細 別	工 夫 事 項	
5. 創意工夫	(公共建築工事) I. 創意工夫 評価項目数	<p>■ 準備・後片づけ関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫  <input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫  <input type="checkbox"/> その他:                      (理由: )</p>
		<p>■ 施工関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫  <input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取り組み  <input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫  <input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫  <input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫  <input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫  <input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫  <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫  <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫  <input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫  <input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫  <input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫  <input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫  <input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫  <input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫  <input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫  <input type="checkbox"/> その他:                      (理由: )</p>
		<p>■ 品質関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫  <input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫  <input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫  <input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫  <input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫  <input type="checkbox"/> その他:                      (理由: )</p>

考査項目	細 別	工 夫 事 項	
5. 創意工夫	(公共建築工事) I. 創意工夫	<b>■ 安全衛生関係</b>	<input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、 <input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 <input type="checkbox"/> 作業時における作業環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> その他： (理由： )
		<b>■ 施工管理関係</b>	<input type="checkbox"/> 出来形の管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工計画書または写真記録等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 <input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> CALSを活用した施工管理の工夫 <input type="checkbox"/> その他： (理由： )
		<b>■ その他</b>	<input type="checkbox"/> 完全週休2日の確保が図られている。(R3.5.1からR8.3.31迄に入札公告した工事に適用) <input type="checkbox"/> 若手や女性技術者の登用により担い手確保が図られている。(R2.4.1以降に入札公告した工事から適用) <input type="checkbox"/> 建設キャリアアップシステムの活用が図られている。(R3.5.1以降に入札公告した工事から適用) <input type="checkbox"/> (理由： )
	記述評価  【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細に記述】	評点：      点	詳細評価内容

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。

※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、第二次評定者が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。

※5. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

## 1. ICT活用工事に関する加点の見直しについて

## 工事成績評価における配点の見直しについて(ICT内製化加点の新設)

- 現在の運用では、ICT技術の「活用範囲」に応じた加点を行っており、活用促進を図っているところ
- 今後、ICT技術の内製化(自社実施)の推進により、さらなる効率化を図るため、以下のとおり「**内製化**」に関する評価項目を加えた配点の見直しを行う
- 本運用は、**令和8年4月1日以降に入札公告を行う県発注工事から適用**する

現 行	ICT活用による加点(令和8年3月31日までの公告工事)						
	ICT活用範囲	施工プロセスにおけるICT活用項目					加点 (ICT活用)
		①3D 起工 測量	②3D 設計データ 作成	③ICT 建機 施工	④3D 出来形 管理	⑤3D データ 納品	
	全面的な実施	○	○	○	○	○	4点
	部分的な実施	○	○	③④どちらか実施		-	2点
	活用なし	-	-	-	-	-	0点

◎ ICT技術の「活用範囲※」に応じた加点のみ(最大4点)  
※ 内製・外注問わない

  

改 正	ICT活用および内製化による加点(令和8年4月1日以降の公告工事)								
	ICT対象工種	施工プロセスのうち、ICT活用必須項目					加点① (ICT活用)	加点② (内製化)	加点 ①+②
		①3D 起工 測量	②3D 設計データ 作成	③ICT 建機 施工	④3D 出来形 管理	⑤3D データ 納品			
	土工 (1千m3以上かつ5千万円以上)	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必須項目でICT活用※1 2点</li> <li>● ICT活用なし 0点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ②④とも内製※2 2点</li> <li>● ②④いずれか内製化 1点</li> <li>● ②④いずれも外注 0点</li> </ul>	0点~ 最大4点
	土工(上記以外)、法面工、河川浚渫工、構造物工、舗装工		○		○				
	地盤改良工		○	○	○				
	舗装修繕工	○	○			○			

① ICT技術の「活用有無」により加点(最大2点)  
+ ② ICT技術の「内製化範囲」に応じ加点(最大2点)

※1: 要領に基づき、3次元計測技術等を用いた管理断面および変化点の計測であっても「ICT活用」とみなす。 ※2: 舗装修繕工は②のみで「可」とする。